

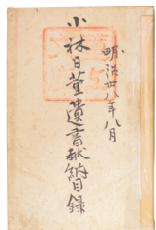
所蔵史料



ベルトバックル（校章）



校章（襟章）



小林日蓮遺書献納目録
[明治38年]



日蓮宗大学図書館募縁
[明治42年]

史料寄贈

立正大学文書館にご提供いただける本学に関する史資料がありましたら、ご連絡をいただきたくお願い申し上げます。具体的には、現在、以下のような史資料を中心に収集を進めております。

・第16代学長 石橋湛山関連史資料（講義ノートや直筆文書など、立正大学との関連史資料）

※募集対象は、随時更新します。

※個人情報に対しては、非公開にするなど、配慮いたします。また、当館規程にて、公開制限希望などにも対応しています。

利用案内

❖ 休館日

- ・土曜日および日曜日
- ・法律で定めた祝日（ただし、休日授業日を除く。）
- ・本学で定めた休日

※史料の閲覧をご希望の場合は、事前にご連絡をお願い致します。

❖ 利用できる方

- ・本学の教職員
- ・教員が推薦する本学の大学院生・学部生
- ・その他、館長が必要と認めた者



所在地 / 連絡先

〒141-8602 東京都品川区大崎4-2-16

立正大学 品川キャンパス 4号館1階

TEL : 03-3492-2690

FAX : 03-5487-3339

E-mail : archives @ ris.ac.jp

RISSHO ARCHIVES

立正大学文書館 のご案内



大崎校舎全景 [昭和9年頃]

立正大学文書館について

立正大学史料編纂室と立正大学石橋湛山研究センターを統合し、2024（令和6）年4月1日より「立正大学文書館」となりました。

立正大学史料編纂室は、大学の貴重な記録を残すべく2014（平成26）年4月に開設され、資料の調査・収集・整理・保存を行うとともに、大学史編纂事業に取り組んできました。一方の立正大学石橋湛山研究センターは、第16代学長石橋湛山に関する文献・資料・情報を収集するとともに、石橋湛山に関する研究プロジェクトを企画・実践し、その成果を公表してきました。

立正大学文書館は、両機関を引継ぎ、立正大学学園の歴史および石橋湛山を含む関係者の事績を調査研究し、その成果を本学の発展に資することを目的にしています。

事業内容

- ・本学園関係資料の収集、整理、保存および公開とレファレンス
- ・本学園関係資料の調査、研究およびその成果の発表
- ・大学史に関する教育への支援
- ・学内外の関係者および機関との連携、協力関係の構築
- ・その他、目的達成に必要な事項

刊行物

❖ 大学史

『立正大学の百二十年』

本学の120周年（1992年）を記念してつくられた年史です。

『立正大学の百四十年』

本学の140周年（2012年）を記念してつくられた年史です。

『写真で見る立正大学の歴史』

本学の歴史のなかから重要と思われる出来事を選び出し、写真と短い解説を加えた図録です。

『写真で見る立正大学の150年』

150周年記念事業の一環として、年月日が特定できた写真約400点を掲載したものです。

❖ 研究成果

『立正大学史紀要』

収蔵史料の翻刻、または研究論文を発表することを目的としています。

『石橋湛山研究』

石橋湛山研究プロジェクトに関する成果を発表することを目的としています。

❖ その他

「史料編纂室だより」／「文書館だより」

2014（平成26）年4月より『立正大学学園新聞』に「史料編纂室だより」を連載しています。2024（令和6）年4月からは「文書館だより」として再スタートしました。本学の歴史に関するエッセイを執筆しています。

展 示

立正大学文書館では、大学史への興味関心を高める活動の一環として常設・企画展示を実施しています。常設・企画展示は、2021年2月竣工の150周年記念館に設置した「立正大学ロータスギャラリーB（13号館地下1階）」にてどなたでもご覧いただけます。

常設展示では、本学の歴史を簡単に体験できる年表と日蓮宗大学講堂や石橋湛山学長室の再現模型等を設置しています。企画展示では、テーマに沿った収蔵史料を設置しています。常設・企画展示以外にも入学式やオープンキャンパス等で展示を実施しています。

立正大学ロータスギャラリーB
（品川キャンパス13号館地下1階）

